

住民自治協議会だより

第23号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

平成30年度「小田切地区ながの未来トーク」

今年から名称変更し、9月1日（土）改善センターで開催。市から加藤久雄市長、関係部局長4名が出席しました。地区内の参加者は47名でした。



<提案議題1> 「空き家対策について」

空き家への移住者紹介や活性化対策などの取り組みについて

<回答要旨> 利用希望者へ情報提供できる空き家バンクへの登録をしてほしい。中山間地域空き家改修等補助制度もあり、Iターン者に改修費や家財道具処分費用の一部補助もあります。

<提案議題2> 「避難勧告に伴う避難体制の情報伝達について」

避難時の地区内伝達方法と防災訓練の在り方及び近隣地区避難所への避難対応について

<回答要旨> 防災行政無線の屋外スピーカーや携帯電話の緊急速報メール、テレビなどで対応。市ホームページや登録制の防災メールによる情報配信をしています。日ごろ、地域事情にあった情報伝達、避難経路等の確認訓練をお願いします。

<自由討議1> 「デマンドタクシーの運行ルートについて」

新「かつら号」南ルートは、安茂里駅が新設され利用者も大幅に増加しており、北ルートも直通で大門町方面まで運行ルートの延長を要望

<回答要旨> 停留所は18か所から、川後線バス停を含む61か所に増設しました。既存の幹線路線バスの鬼無里線や川後線の維持のために、この路線の利用促進に協力をお願いします。



小田切地区夏祭り実行委員会を立ち上げ 盆踊りや模擬店、お花市も計画

小田切地区夏恒例のお盆野球がなくなり、夏の行事として何かイベントが欲しいとのことから、住自協役員会で夏祭りを開催することになりました。

小田切で活動する長野翔和学園、錬成センターにも加わってもらい実行委員16名で立ち上げました。平成30年11月14日の第1回実行委員会で、今年は8月12日（振替休日）に錬成センターグラウンドで開催することを決めました。盆踊りをメインに模擬店やお花市も計画しています。



昨年の翔和学園盆踊り

平成30年度 小田切地区総合防災訓練 小田切地区自主防災組織連絡協議会

重点訓練 住民の安否確認と近隣避難所への実地避難行動

11月11日（日）早朝、小田切地区全域に避難勧告を想定し、小田切地区自主防災組織連絡協議会、地区住民、消防小田切分団など約110名が参加しました。

現地災害対策本部を設置し、避難所を開設。今年の重点訓練は①集落毎の人員と安否確認、②避難行動要支援者宅の確認と救護体制を確認、③各区防災会の判断で近隣避難所へ実地避難行動を取る、④避難完了後に対策本部へ住民の安否報告など情報収集伝達訓練を行いました。

各区で実地確認した避難所

裾花・地蔵平・国見・中組区は、加茂小学校、西部中学校
深沢・吉窪・下宮区は、松ヶ丘小学校、安茂里体育館
上宮・上山・下山・千木区は、小田切避難所

その後、安茂里分署による応急処置訓練とAED取扱い訓練があり、各区防災会正副会長は無線機取扱い訓練を行いました。



AED取扱い訓練



情報収集伝達訓練

第2回 小田切地区社会福祉大会

福祉・健康部会

誰にも居場所があり、生き甲斐とつながりのある集い

小田切地区住自協は10月31日、青少年練成センターで第2回社会福祉大会を開きました。平成27年の第1回大会に続くもので、長野翔和学園の35名を含め約150名が参加しました。

農産物や焼き芋、手芸品などの物販コーナーは大賑わい、また、保健師健康相談では骨密度測定が人気でした。福祉大会のオープニングは、翔和学園の太鼓演奏で始まり地域の活動紹介と続き、お茶のみサロン19団体の紹介がありました。

講演会は、「サクスを吹くお坊さん！！」で飯綱町阿弥陀寺の久遠峯志住職の唱歌などのサクソ演奏に加え、人生の仏教的解説がありました。



賑わう物販コーナー



福祉大会オープニング



サクスを吹くお坊さん

地域間交流会

総務・安全防災部会

三輪地区

三輪地区のまつりイベント「ひまわり広場」に参加しました。10月21日小田切地区は、三輪公民館玄関前で3年目となる野菜広場に、地元産野菜やりんごなど26種類ほど出品しました。長野翔和学園のみなさんにも加わってもらい、焼き芋販売など好評でした。



安茂里地区

前年度に続くきのご狩り交流会を10月16日、富士の塔山麓で開催。安茂里地区住自協から17名が参加しました。前評判の豊作とはいかず、食用は少なめでした。専門の鑑別士による勉強会では、特に毒キノコの話で盛り上がり上がっていました。



おとこの料理教室 福祉委員会

おやきづくりに挑戦

郷土料理に挑戦する「おとこの料理教室」は、11月7日に環境改善センターでおやきづくりを体験。地元のベテラン講師の指導により、切り干し大根と野菜ミックスを作りました。参加した9名のほとんどが初心者で、やはり包み方で苦戦し、皮の破れに手こずっていました。「仕上がりは上々、味は抜群」とは参加者の感想でした。忘れないうちにぜひお試しください“おとこの味”。



まちづくり活動発表会

平成30年度ながのまちづくり活動支援事業補助金交付団体による活動発表会が、11月30日に市庁舎講堂でありました。対象は22団体で、小田切住自協は『乗合タクシー「かつら号」を軸とした高齢者が元気なまちづくり』活動を発表しました。各団体のブースをまわっての意見交換会では、活動状況や成果の詳細を知り、参考になるテーマも多くありました。



長野翔和学園の小田切における活動について

NPO法人翔和学園
学園長 伊藤 寛晃

「小田切の皆様にお世話になりながら活動している」これこそが長野翔和学園のブランドです。

長野翔和学園は「全国初の官民連携の発達支援を専門に行う学びの場」として長野県から誘致を受け誕生しました。小田切の土地で、皆様のお力をお借りしながら新しい特別支援教育を創造し、この小田切から長野全域に、そして日本全国にそれを発信していくことが長野翔和学園の使命です。

今年度、大学部の学生たちは毎週火曜日に、そして、ワークセンター長野翔和の実習生たちは毎日、小田切で活動させていただいております。

来年度からは、大学部の学生たちも毎日のように小田切で活動させていただきたく、現在マイクロバスの手配とカリキュラムの調整を行っております。

翔和学園では、障害特性をむしろ強みとして、得意なことを徹底的に伸ばしていくギフテッド教育を行っております。皆様のお知恵や経験・技術をご伝授いただき、このような教育についてもご助力いただけたら幸いです。

お世話になるばかりですが、学生たちの気力に満ちた姿をお見せすることで恩返しできたらと思っております。

いざという時の
緊急対応に

「救急医療情報ケース」全戸配布

小田切地区住自協は、緊急時に救急車など呼んだ時、救急隊員や第三者が親族などに素早く連絡がとれ対応できるよう、通院医療機関の情報や家族の連絡先などを記入する「緊急時安心カード」と、それを入れ保管する円筒容器を9月に全戸配布しました。この情報ケースを置く場所は、「冷蔵庫の壁に吊るすこと」を全世帯の共通認識にしています。



第43回小田切地区市民運動会

10月7日



アルクマも「小田切の里健康おどり」



秋のゴミゼロ運動 環美連



住自協研修「高齢者施設見学」



11月19日

第2回しゃべり場



11月21日

安西晋地域おこし協力隊任期満了報告会



11月22日

長野翔和学園「小田切冬祭り」

12月22日



「たいしたもん」の前で



小田切のジオラマ制作中

民生児童委員協議会 交替人事

民生委員 (新任) 池田 光揮 (麻庭) 担当区 下宮・上宮区 任期 平成30年12月1日から31年11月30日

やまびこ

昭和59年4月に誕生した市立小田切公民館が4月に改称します。市立公民館でモデル館のひとつとして「小田切交流センター」となります。今までの生涯学習や地域活動に加え、物販など含む地域づくり活動や社会福祉活動にも利用できますので、大いに活用してください。尚、利用する活動や団体によっては有料となる場合があります。

神武から125代を数える平成も5月1日、新天皇即位によって改元されます。 平成己亥 正月